

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和7年度 第6回郷育推進会議
開催日時		令和8年3月24日（火） 18：30～20：00
開催場所		福津市役所本館2階 庁議室
委員名		(1) 出席委員 木本会長、山口副会長、伊藤委員、宇都宮委員、 大森委員、國廣委員、立山委員、瀨田委員、柳田委員 (2) 欠席委員 中島委員
所管課職員職氏名		郷 育 推 進 課 長 芹野 文彦 郷 育 推 進 課 郷 育 係 長 宇藤 雄矢 郷育推進課中央公民館公民館係長 瀧口 純一
会 議	議 題 (内 容)	1. 議題 ・ 市中央公民館の利活用に関するアンケート調査について ・ 今後の郷育推進会議について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	4人
	資料の名称	・ 福津市中央公民館の利活用に関するアンケート ・ 福津市郷育推進会議R9に向けてのロードマップ ・ 福津市生涯学習推進計画
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法：会長による確認
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会のことば

2. 会長挨拶

3. 協議事項

(1) 市中央公民館の利活用に関するアンケート調査について

●会長

前回の会議結果を踏まえ、アンケートを作り替えた。また、新旧対照表やチェックリストも付けて事前に配布しているので、早速中身の検討に入る。

まず、中学生向けアンケートで気になるところや、見られての感想や意見をいただきたい。

先に、問16のわかたけ広場は分からない、行ったことのない中学生がいるかもしれないので、はじめの施設紹介に説明を追記する必要がある。

●委員

問6の「保護者も安心できる場所だと思いますか」は、中学生としては回答しにくく、ここで止まる。「雰囲気良くて安心して過ごせる場所だと思いますか」のような問い方なら答えられるかもしれないが、急に保護者の思いを聞かれ、戸惑うのではないか。

●委員

「居心地の良い場所だと思いますか」のような聞き方はいかがか。

●会長

問6は表現も含め、検討項目ということで改めて協議する。

●委員

問13に関連し、部活動の地域展開について。

運動部については日本スポーツ協会と連携し、質の高い指導者を育成・確保しながらやっていこうという方向性が出てきているが、文化部はそうではない。しかし文化部の活動を中央公民館で行うなど、アイデアによっては中央公民館の利活用につながるのではないか。

多様化の時代の中で、特に文化的な、例えば華道や茶道など、いろいろな日本のよい文化があるが、指導者がいない。そこで、それらに興味がある中学生が、市内3つの中学校のちょうど真ん中にあるこの魅力的な文化的な施設で、地域の方と一緒に活動する、そのようなアイデアはいかがか。

中学校の部活動は毎日やるというのが昔は普通であったが、現在、特に文化部はそうではなくてもよく、平日に活動日が1日であったり、また休日に活動したりというような、中央公民館ならではの施設の使い方ができるのもよいのではないか。

●委員

アンケートを取った結果、具体化・具現化できるものが見えてきたらよい。場所があることは強い。

●委員

問12について、最初から利用しにくいと決め付けて聞くのはどうか。利用しにくいイメージから入ってしまわないか。

●委員

先ほどの部活動の地域展開の話に関連し、新中学1年生には回答しづらいか。まだ部活動がどういったものか分からないかもしれない。

●会長

今の意見を踏まえると、1年生を対象から外すことも一つの方法である。学校にお願いして2・3年生でアンケートを依頼することはできるだろう。3年生であれば卒業していく学年ではあるが、逆に言うと3年間の自分の部活の中で、本当ならば公民館にこんなものがあったら行きたかったということもあるかもしれない。

●委員

アンケート全体として、いろいろ細かく聞きたいのは理解できるが、回答者の負担が結構大きいように感じる。今QRコードから電子申請画面を見てみたが、最初のアンケートや施設についての説明を辛抱強く読むことは、中学生にとってはかなりハードルが高いように感じる。知っているか、知らないか、という認知度を聞く項目もあるが、通常のアンケートでは説明は入れない。本当に聞きたいところに焦点を絞り、なるべく情報は削ぎ落とした方が回答しやすい。

●会長

感想や意見をいただいたが、事務局が改めてまとめる上で、ある程度本会議での方向性を出したいので、項目ごとに細かく見ていく。

まず、最初の中央公民館とキッカケラボの説明を両方入れるかどうかについて。先ほどわかたけ広場についての説明は追記する話であったが、よろしいか。

●委員

地図や写真など、わかたけ広場がこれだと分かるものを入れてほしい。

●会長

表記については、事務局でもう一度案を作成し送付するので、改めて意見をいただく形にさせてもらう。

(問1～5までは案のとおり同意)

問6について、先ほどの意見では保護者という視点を外し、中学生自身が明るくて安全で安心できる場所と思うかを尋ねる、もしくはもう少し表現を変えて居心地の良い場所だと思うかを尋ねる、また他の表現があるか、ということであった。

●委員

アンケートで聞く時に複数の要素をなるべく入れないほうがよい。明るくて安全で保護者も安心できる、という3つの要素があると、保護者を外したとしても、例えば明るくて安全な場所だと思いますかと聞かれると、照明は暗いけれど安全だと思う人と、明るいけれど安全かどうかまでは分からないという人もいる。すなわ

ち、両方OKと両方NGを含め4種類に分かれる。だから何を聞いているか、何を聞きたいかが分からなくなる恐れがある。

居心地がいいと思うかと聞かれると、それに対し「はい」「いいえ」と答えることができ、分かりやすい。複数要素を聞いていないか気を付けた方がよい。

●委員

答える側によって、その居心地が良くないと思う理由も全部違う。

●委員

ここで一番聞きたいことは何か。

●委員

明るいか暗いか不便とか、そういうものを入れて、どういうイメージを持っているかというのを聞きたい。

●委員

公民館のイメージについて、ポジティブ・ネガティブな選択肢をそれぞれ用意して聞くのはどうか。

●会長

今いただいた意見のような形でまとめられそうな気もする。イメージを確認する方向性でよいか。

●委員

問12と内容が重複しないか。

●委員

問12は利便性についてなので、別物と考えてよいのではないか。

●委員

全体の表記について、「福津市中央公民館」と「公民館」と表記揺れがあるので、「福津市中央公民館」に統一したほうがよい。

●委員

中央公民館に愛称をつけると分かりやすい。

●会長

カメラのような愛称は分かりやすい。
もう一度問6について意見をいただきたい。

●委員

公共施設という意味では危険なイメージはないと思う。中央公民館への行き帰りの安全性という視点で尋ねているのか。

●事務局

以前の議論で、ショッピングモールや飲食店等、いわゆる衆人環視の中に我が子を置くということが、親として安心できるという意見があり、それを反映させたものである。

●委員

それらの施設とはイメージが大きく乖離している場所であるから、あまり考慮しなくてもよいのではないか。

●委員

子どもに親のことを聞くことは、本当はおかしい。中学生はここでもう答えることをやめそうな気がする。先ほどおっしゃったように、本当にシンプルに答えやすい問いの方が、中学生は回答してくれると思う。高校生であれば少し意見が出てくるとは思いますが…。皆さんの意見はどうか。

●会長

問6は項目を削除する。引き続き項目の検討に入る。
(問7～9は案のとおり同意)

問10、11、部活動の地域展開に関連する箇所はいかがか。

●委員

地域で何が行われているのかまず分からないので、回答しにくいかもしれない。

●委員

地域の人と一緒にいうところを外し、公民館で行われるスポーツや文化活動に参加してみたいですかと、単純に聞くだけではいかがか。地域の人と一緒にとか言われてもイメージが湧かないかもしれない。

●委員

中学生だけでいう活動と捉える危険性がある。だからあえて地域の方と一緒にいうとしたのではないか。

●会長

地域認定クラブに所属したら、学校の評定に影響があるのか。今スポーツでも社会体育を含めいろいろなことをやっている子どもが多い。学校の先生も知らないところに、自分がやりたくて行っているという子どももいる。それは文化的なものであろうがスポーツであろうが、認定されているということがあったら、子どもは安心して行けるということか。

●委員

認定される、されないというのは、学校の部活動の延長であるか否かの問題である。そのことと、進路に対してのアドバンテージということで考えると、それは何かの活動をしているか、していないかが重要なので、学校の部活動だからとか、部活動外だからということで差をつけられない。

●会長

特技の一つとしてやっている、そのような認識でよいのか。

●委員

特技の一つとしていうものは、あくまでも個人で行うものである。ただ、クラブ等に所属し、集団の中での一定の規律を身に付けたとか、チームとしての活動実績があるとか、そこは推薦で取る高校は気にする点になり得る。

●会長

部活動の地域展開という表現が、子どもたちにどれだけ響くのか。今までの部活動と違う点等、まだ分かっていないところがある。

●委員

地域展開を外した方がよい。まだ始まったばかりで、教職員ですら正確な答えはなかなか言いにくい。部活動とは別に、地域の人と一緒に何かしたいですか、というシンプルな問いにしてみてもどうか。

●会長

では「部活動の地域展開」という言葉を外し、設問自体はこのままでよいか。

(同意)

次に問 12。先ほどの利便性の話になるが、どうか。

●委員

ネガティブな回答でなく、ポジティブな回答もちょっと織り交ぜたい。公民館を利用することに関してどのような印象があるか、という聞き方ではいかがか。選択肢の中に、先ほど削除した「安心できる場所」というものを入れてはどうか。

●委員

この問 12 の前に、公民館の利用しやすさについての問いを入れ、利用しにくいとネガティブに答えた人は、問 12 で利用しにくい要因について聞くのはどうか。設問を増やすことはしたくないが、ここは前に一つ置いておけば、問 12 はそのまま使える。

●会長

では問 12 の前に、利用しやすさについて2択で聞くことにする。傾向が分かると、そこを重点的に改善していくという検討ができるので、若い人がなかなか来ない原因や現状について、子どもたちがどう思っているのかということを確認するよい機会だと考える。

それでは問 13 以降はいかがか。

●事務局

問 13 については否定的な聞き方ではなく、設問文を練り直す。

●会長

その他はよいか。

(問 13～16 は案のとおり同意)

最後に、先ほど委員の意見の中で、アンケートの対象を2・3年生に絞るか、全学年を対象にするか、意見をいただきたい。

●委員

答えがなかなか1年生から出ないとしても、聞くだけ全部聞いてみたい。

●事務局

問 1 で学年を聞いているので、例えば1年生が回答することでデータが偏るのであれば、質問によっては2・3年生だけのデータを抽出するとか、質問によっては

全学年簡単に答えられるから全学年のデータを取るとか、そういったことは可能である。そういう意味では全部聞いてもよいのではないか。

●委員

集めるだけ集めて、使えそうであったら使うという考えでよい。

●委員

分からないと言っていることが分かったというのは、それはそれで大切である。

●会長

それでは全学年を対象にする。

次に高校生のアンケートについて、中学生向けと同様の箇所以外で気になるところはないか。

一つ思ったが、現状高校生は勉強等に来ているか。

●事務局

本当にごくまれであるが、いる。今年度は昨年度よりも少なく、今はもういない。一時いたかなというぐらいの感じである。

●委員

それはどこで勉強をしているのか。

●事務局

ロビーに自由に使える机と椅子がある。

●委員

ただそのような現状で、個人学習、受験勉強、グループ学習、探究活動…こんなに選択肢があっても、答える子があまり出てこない。地域イベントやボランティアというのはいると思うが、ミスマッチのような気がする。読書や資料の利用というのはどうか。

●会長

今は図書館もなくなり、基本的には考えられない。絵やチラシを見ることはあるかもしれないが…。

●委員

講座というのはどういうものか。

●会長

キッカケラボや郷育カレッジの講座が考えられる。

●委員

去年まではホールでの催し物を目的に来たという子もいるかもしれないが、それを今聞いても仕方ない。勉強のため、講座・セミナーへの参加、地域イベント・ボランティア、その他、あと何かあるか。

●委員

学習、ボランティア、遊び、その他ぐらいではないか。

●委員

細かく聞かなくてもよいとは思いますが、学習については個人とグループの違いは聞いてもよいかもしれない。例えば学習室を作ろうとしたら、個人用デスクが必要かとか、グループ用のデスクが必要かといった検討材料になる。なくてもよいのは受験勉強と探究活動である。

●会長

では「個人学習」「グループ学習」「講座・セミナーへの参加」「サークル・同好会活動」「地域イベント・ボランティア」「その他」でいく。答えが出ようが出まいが、一応そこだけそれだけ聞くことにする。

次の問7はそのまま、問8は先ほどに倣い削除、問9以降も中学生の例に倣う。

問16と17、聞き方は中学生と一緒にあるが内容が変わっており、企業とかビジネス体験ワークショップとかITプログラミングとか、高校生向けになっている。この辺はいかがか。

(同意)

●委員

問10と問12の選択肢中の「友人と一緒に利用を検討したい」というのと、「内容次第で参加を検討したい」という、その「検討」は必要か。

●事務局

「検討」は外すことにする。

●会長

残りも中学生に倣ってよいか。

(同意)

では、本日の協議内容を踏まえ、もう一度修正したものを委員に送付し、そのリアクションをもって完成とする。

●事務局

中央公民館の課題として、やはり人が来ない、来ていただけない、特定の方に偏ってしまっているというところがあり、その課題というのはずっと認識してきた。今回本会議でいろいろな意見をいただき、アンケートを作成でき、大変ありがたい。

(2) 郷育推進会議の今後について

●会長

次の議題。

添付の資料について事務局から説明を求める。

●事務局

生涯学習推進計画の答申が、次年度の大きな動きである。1年間かけ本会議において皆さんの意見をいただき、答申書を作成するものである。

来年度早々、生涯学習推進計画策定に関し、教育委員会から本会議に諮問が依頼され、それについて意見をまとめてお答えいただくということになる。今は第1期の計画期間中で、次年度が計画期間の最終年度である。すなわち、令和9年度から

第2期、新しい計画というものを策定しなければならず、案ではあるが、10月ないし11月ぐらいをめどに答申いただくということになる。そのため、前期に会議の回数を詰めさせていただき、話し合いを進めていきたいと考えている。パブリックコメントを踏まえ、どんなに遅くても令和9年3月の教育委員会に上程をし、令和9年度からこの計画期間というようなスケジュールになっている。

●会長

教育大綱という大きな屋根が今決まりつつあり、並行して教育総合計画の策定に向け動いている。それぞれの会議の情報をうまく共有し、学校教育と社会教育の両者の視点を活かしながら、計画が作れるのではないかと考えている。ただ策定まで時間がないので、これからもまた皆さんと意見をいろいろ出し合いながら進めていきたい。

また、別添資料は平成31年度に作った生涯学習推進計画であり、この中の13ページから後を当時の郷育推進会議委員の皆さんと相談しながら作った。そして17ページ以降については、見てお分かりのとおり情報が古く、例えばコロナ禍を経て子どもたちがタブレットを全員持ち、オンラインで授業を受けることも普通になるなど、状況が大きく変わっており、改めて入れなければならない表現も増え、変えなければならない表現も出てきている。ただ、福津市の生涯学習の考え方として、ベースが大きく変わるものではないので、ご一読いただくと助かる。これに加えていくべきことや、逆に削除したほうがよいことなど、改めて皆さんといろいろ話し合いながら進めていきたいと思っている。その検討前に、今回のアンケートを名文化したものを皆さんと共有して、そして実際学校の方にアンケートを取って、その結果を推進計画の中でも活かしていきたいので、よいタイミングでアンケートを取る形になったと思っている。

●委員

最後に1点、公民館のアンケートの件で、中学生向けの問11、内容のところで、高校生向けにはeスポーツとボードゲームがあるが、中学生向けにも入れてはどうか。

(同意)

4. その他

次回開催日について

令和8年5月26日(火)18時30分～開催予定。